

静岡市自転車MAP

平日版【静岡駅周辺】

通勤通学時の自転車利用を促進するとともに利用者の
ヒヤリ・ハットマップとして作成したものです



自転車安全利用五則

- 1. 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先**
 原則として車道の左側を通行しましょう。歩道は歩行者が優先です。すぐに停止できる速度で通行しましょう。
- 2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認**
 自転車も信号を守りましょう。一時停止標識のある場所では必ず止まって左右の安全確認をしましょう。
- 3. 夜間はライトを点灯**
 夜間は進路前方の安全を確認するため、また他の車や歩行者に通行していることを知らせるため、必ずライトを点灯しましょう。
- 4. 飲酒運転は禁止**
 自転車は車両です。お酒を飲んで運転することは禁止されています。
- 5. ヘルメットを着用**
 事故による被害を軽減させるため、自転車に乗車する場合は、乗車用ヘルメットを着用するよう努めましょう。

監修：静岡県警察本部

～2019年10月1日から自転車保険の加入が義務化されました～

自転車保険チェックシート

- ☐ 自転車向けの損害賠償保険に加入している
- ☐ その他の損害賠償保険に加入している
- ☐ 「個人賠償責任特約」を付帯している
- ☐ 自転車保険に加入しています

いづれかにチェックが入れば「はい」

いづれにもチェックが入らなければ「いいえ」

自転車走行空間ネットワーク

静岡市では各道路の状況にあわせて、自転車レーン・自転車道（歩道上に境界ブロック等をもつけ、歩行者と自転車に分離）、自転車歩行車道（歩道に線を引く両者を分ける）などの整備を順次進めています

自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン） 自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン）

自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン） 自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン）

自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン） 自転車歩行車道（物理的分離） 自転車専用通行帯（自転車レーン）

地図凡例

危険箇所

- 通勤・通学者 片側40台以上/時間の区間
- 特に注意が必要な区間
- 静岡県教育委員会指定危険箇所
- アンケートによる危険箇所

- 東海道新幹線
- 東海道本線
- 静岡清水線
- 国道
- 県道
- 自転車走行空間ネットワーク整備計画道路

- 県庁
- 市役所
- 区役所
- 高校・大学・短期大学
- 中学校・小学校
- 病院
- 郵便局
- 警察署
- 交通
- 消防署
- 公共トイレ
- 信号
- 駐輪場
- 公園・広場
- 神社

静岡市の自転車に関する情報はこちら



RULE ルール

自転車のルールの中で最も認識されていないのは、「基本的に自転車は歩道を走ってはいけない」ということではないでしょうか。事実、歩行者と自転車による事故はこの10年間で増加傾向。このRULEのコーナーでも以前「自転車は車道の左側を走る」大切さをお伝えしましたが、自転車事故のニュースを目にすることが多いことからなかなか認知が広がっていないのが現実のようです。

右の図にもあるように、自転車に不快な思いをした上位の項目は「歩道を猛スピードで走る」「2台以上で並進している」となっています。歩道を歩いているときに、暴走している自転車にヒヤッとしたり、詰りながら並進している自転車にイラッとしたりという経験は誰もがするはず。しかしこれは自分が自転車側になるといってしまいうことであるとも言えます。例え自転車歩道通行可の標識がある歩道であっても、歩行者を優先することを第一とされており、自転車が我が物顔で走るのは許されていません。歩道を通行する際はより慎重になって車道寄り（左側）を取り、特に子どもや高齢者に配慮したゆっくりとした通行が求められます。こうした走行時の配慮を実践するためには、ルールとして定められているから守るという意識よりも相手の

歩行時に感じる「ヒヤッ」と「イラッ」。あなたも誰かに感じさせているかも？

立場になってみる視点が必要です。自分が歩行者の立場なら「ヒヤッ」「イラッ」とするな、という客観的な視点で自分の行為を見直すことで気づいていくはず。その歩道を歩いているのは自分もしくは大切な家族という気持ちで通行してみてもいいかもしれません。

「猛スピードで走る」「2台以上の並進」が歩行者に不快な思いをさせている！

怖い思いや不快な思いをした自転車の行為

自転車の行為	割合 (%)
走るスピードで歩道を走る	54.4%
2台以上で並進している	42.5%
夜間や夜間ライトを点灯していない	51.8%
歩道を歩いているときに、暴走している自転車にヒヤッとしたり、詰りながら並進している自転車にイラッとしたりという経験は誰もがするはず	40.4%
歩道を歩いているときに、暴走している自転車にヒヤッとしたり、詰りながら並進している自転車にイラッとしたりという経験は誰もがするはず	50.7%
歩道を歩いているときに、暴走している自転車にヒヤッとしたり、詰りながら並進している自転車にイラッとしたりという経験は誰もがするはず	36.4%

データ提供元：ライフメディアリサーチバンク調べ
URL: http://research.lifemedia.jp/2013/09/130911_bike.html
出典：株式会社シマノ / Cyclingood電子版 004 / <http://cycle.shimano.co.jp>

